



次世代に負担を残さない！ どうする？洞爺湖町！

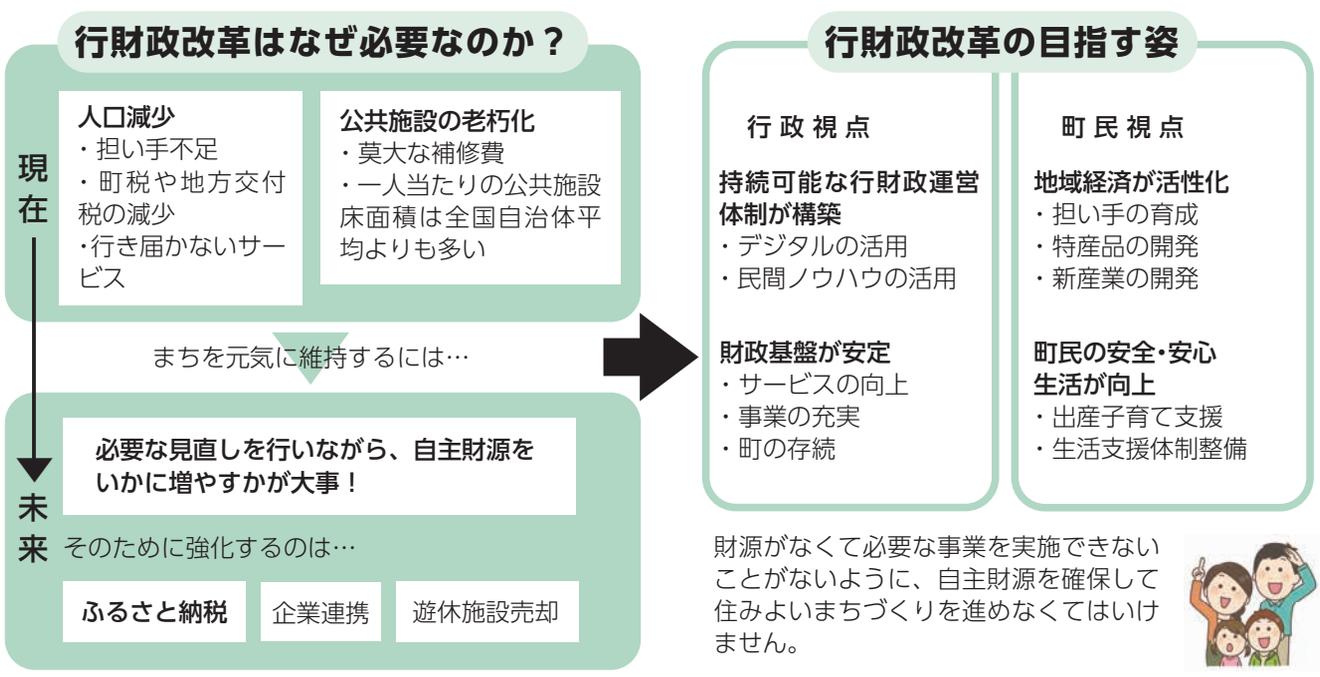
■問合せ 企画財政課行財政改革推進室 (☎ 74-3004)



シリーズ7回目のテーマは自主財源・ふるさと納税の使い道です！

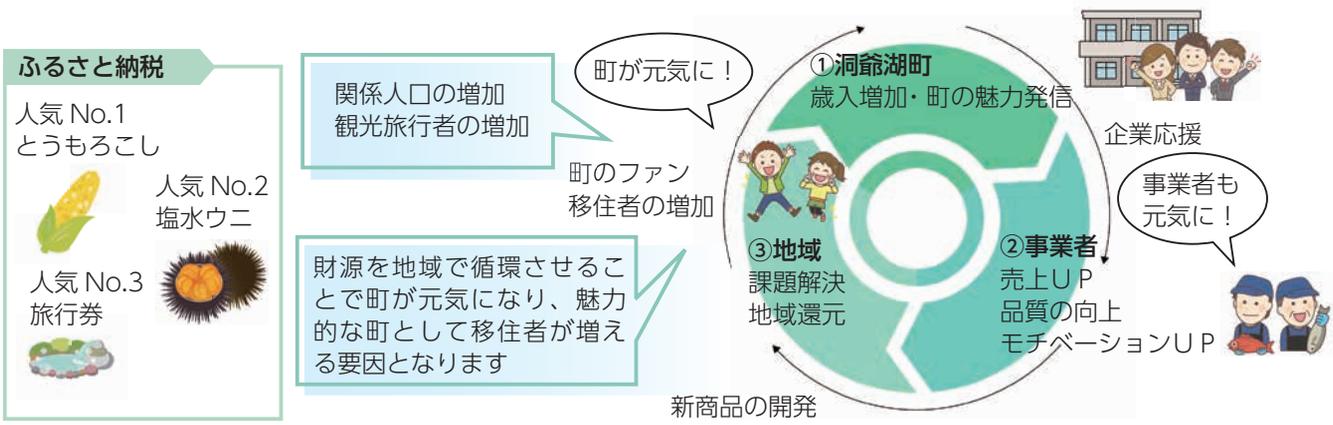
Vol.7 自主財源を生み出す取り組み

自主財源は何のために必要なのか。これまでをおさらいして、あらためて行財政改革の必要性を考えてみましょう。



自主財源確保のために、昨年の8月からふるさと納税専門係を立ち上げ、特産品や町のPRに努めています。ふるさと納税の受け入れ額が増加すると、下記のイメージのとおり町の事業に活用できるほか、事業者や町民のみならずにとってもたくさんのメリットがあります。

ふるさと納税とは？
町外に居住している人が生まれ育った町や応援したい町に寄付すると、税金の一部が還元されたり、特産品がもらえる地域応援の取り組みです。



寄付者の声

寄付者のみなさんから応援のメッセージをいただいています

小学生の時に洞爺湖の牧場で遊んでいて今でも覚えています。自然豊かな洞爺湖町のために役立っていただけたとうれしいです。

とてもきれいな温泉街でした。新しいお店もできており、毎晩の花火も見ごたえがありました。この自然と景観をぜひ守ってほしいです。

将来の移住候補地として応援しています！

夏の旅行で行きました。素敵なお店で家族の思い出になりました。応援しています。

▼ 良い特産品を届ける

▼ 口コミ・SNSで拡散

▼ 間接的に町をPR

リピーターの増加につながっています



ふるさと納税

活用事例

① 保育料完全無償化

これまで世帯の状況や所得などに応じて、0～2歳児までは保育料、3～5歳児は副食費を負担していただきましたが、令和5年4月1日より、保育所利用者負担額が完全無償化となりました。

一時預かり保育利用料・給食代もすべて0円！



令和4年度事業費
5,657千円

ふるさと納税活用額
2,300千円



② 子どもインフルエンザ予防接種

子どものインフルエンザの発病および重症化を予防するため、インフルエンザワクチンの接種率向上を目的とし、中学生以下の保護者の負担軽減のため、予防接種費用の全額を助成しています。

令和4年度事業費
1,129千円

ふるさと納税活用額
1,100千円

③ 買い物支援バス

洞爺地区にはスーパーが無いので、生活に必要な買い物ができるよう週1回、虻田地区までの買い物支援バスを運行しています。

利用者も増加傾向にあり、皆さんの生活を支える大事な地域交通となっています。

利用者の声
週に1回、みんなで買い物に行くのが楽しみです！



運行経費と寄付金の活用

利用実績	運行日数	乗車人数
令和元年度	53回	1,643人
令和2年度	54回	2,048人
令和3年度	51回	1,964人
令和4年度	52回	2,099人

買い物支援バスの費用は役場が負担！

令和4年度運行経費
2,586千円

ふるさと納税活用額
2,500千円

事業費のほとんどにふるさと納税が活用されています！

これからのまちづくりのために

洞爺湖町を応援してくれている町外の皆さんからのふるさと納税で、町全体が豊かになっています。

町が豊かになると地域経済が循環し、施設の老朽化への対応や高齢化社会、ニーズの多様化に合わせたまちづくりを進めることができ、安定した財政基盤が構築されます。

7回にわたり行財政改革、洞爺湖町の現状についてお知らせしてきましたが、今月号で最終回です。安心でき、活気的な町を残すためには皆さんの理解と協力が必要不可欠です。今後もまちづくりへ積極的に参加いただき、洞爺湖町一体となり、町を守っていきましょう。